

みんなで考える

これからの学校とまちのかたち

～こどもの教育環境とまちづくりを考えるための住民説明会～

2026年7月18日

足助交流館飯盛座

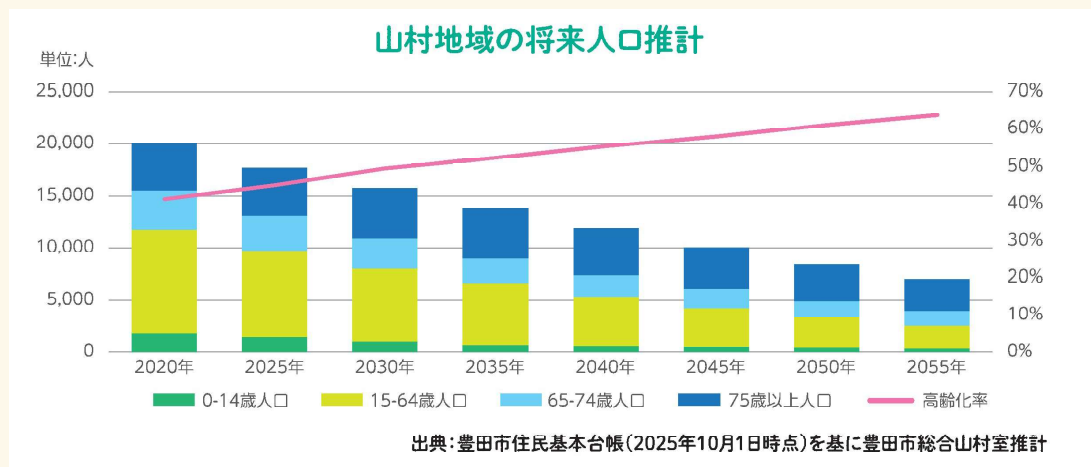


目次

- 01 はじめに 一足助地区の現状などー
- 02 豊田市が目指すこれからの教育環境
- 03 足助地区のまちづくり
- 04 今後の予定
- 05 質疑応答



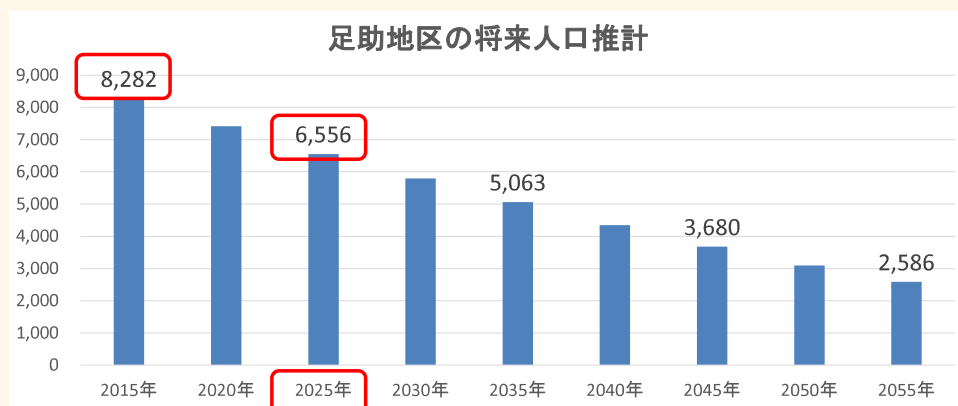
01 はじめに 一足助地区の現状などー 山村地域の将来人口推計



山村地域で人口減少・高齢化が顕著に進んでいる。

2

01 はじめに 一足助地区の現状などー 人口の変化



足助地区の人口は、10年前は8,000人を超えていたが、今年4月には6,500人を割った。

3

01 はじめに 一足助地区の現状などー こどもの減少

2025
(R7)
年度



2031
(R13)
年度

小学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特支除く計	特支	合計
足 助	5	9	13	8	10	15	60	4	64
冷 田	7	3	8	5	8	7	38		38
追 分	1	5	2	8	4	5	25		25
佐 切	1	4	4	0	5	3	17	2	19
則 定	8	4	4	10	8	3	37	4	41
萩 野	0	2	4	5	1	5	17	2	19
明 和	1	6	1	3	2	3	16	2	18
新 盛	4	4	4	2	2	4	20	2	22
大 蔵	3	4	4	1	4	4	20		20
御 蔵	0	0	0	2	2	2	6	2	8
地区計	30	41	44	44	46	51	256	18	274

小学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特支除く計	特支	合計
足 助	0	3	1	4	4	5	-	-	17
冷 田	1	4	4	6	5	5	-	-	25
追 分	1	2	2	3	2	4	-	-	14
佐 切	1	2	1	0	2	2	-	-	8
則 定	2	2	1	2	1	1	-	-	9
萩 野	2	2	0	0	1	2	-	-	7
明 和	2	2	1	3	1	0	-	-	9
新 盛	3	3	2	4	2	5	-	-	19
大 蔵	0	3	1	1	4	4	-	-	13
御 蔵	0	0	3	0	2	2	-	-	7
地区計	12	23	16	23	24	30	-	-	128

半減

行事の運営が困難に…
集団生活の経験が少なく
て心配…
学校にお願いしていた
地域の行事ができなく
なるかも…

01 はじめに 一足助地区の現状などー

学校を考え、人口減少という潮流を変える！

- ・ こども起点（教育環境）で考える
- ・ 子育て起点で住みたくなるまちを考える



01 はじめに 一足助地区の現状などー

この問題を解決するために…

教育環境



まちづくり

だからこそ、まずはこどもの教育環境についてしっかり検討していく必要がある。同時に、足助地区全体の「これからのまちのかたち」を見据えながら、地域の未来を一緒に考えていきたい。

6

01 はじめに 一足助地区の現状などー



魅力あるまちづくり
チェンジ・チャレンジ



若い世代に
選ばれるまち
足助

豊かな自然
+
都市との
近接性

日常の暮らし
+
αの機能

東海を
代表する
観光資源

+

こどもの
教育環境



7

目次

- 01 はじめに 一足助地区の現状などー
- 02 豊田市が目指すこれからの教育環境
- 03 足助地区のまちづくり
- 04 今後の予定
- 05 質疑応答



8

02 豊田市が目指すこれからの教育環境

(1) 第5次教育行政計画の推進

基本理念

つながりの中で、誰もが学び合いながら、
自分らしく豊かな人生を切り拓く

めざす学びの姿



自分を大切に、
他者を尊重する



誰もが安心して生涯にわたり
楽しく学び続ける



豊田市の多様な魅力を分かち合い、
つながりの中で学び、
地域とともに育つ



自ら考え行動し、共に新しい
未来を切り拓く

豊田市の教育

豊田市は、誰もが自分らしく豊かな人生を切り拓いていけるように、
「こども起点」と「つながり合う」という視点を大切にしながら、
教育に関する取組を着実に推進していきます。

学校における重点プロジェクト

こども一人ひとりが自分の気付きや思いを持ち、人や社会とつながりながら、
夢中になって仲間と学ぶ中で「自ら考え判断する力」を育むため、
地域とともに「探究的な学び」を進めていきます。

9

02 豊田市が目指すこれからの教育環境

(2) SDG s とよたローカルゴールを踏まえた取組の推進

豊田市は、持続可能な開発目標（SDGs）について、「SDGs未来都市」として普及啓発や地域課題の解決の加速化を図り、持続可能なまちづくりに向けた取組を進めています。

また、変化の激しい予測困難な社会においては、まちの持続可能性に加え、市民一人ひとりの心身の豊かさも一層大切にしたいという思いから、豊田市独自の横断的な目標として「とよたローカルゴール」を設定しました。各取組においては、SDGSとローカルゴールを踏まえて推進していきます。



L1 こどもたちが夢と希望を持ち、自らのミライを切り拓く力を育む



L2 誰もがつながり合い、様々な体験と感動を通じて、地域への愛着と誇りを持っている

10

02 豊田市が目指すこれからの教育環境

(3) 山村地域の学校再編基本方針

【背景】

- ・ 少子化の進行に伴い学校の小規模化の加速度的な進行
- ・ 社会環境の変化に伴い、地域のつながりの希薄化

【課題】

- ・ 山村地域の学校が果たしてきた「地域ならではの特色ある教育」や、「郷土への愛着やコミュニティの形成に対する重要な役割、教育的価値」を継承しながら、第5次教育行政計画に基づき、新しい時代に対応した魅力ある教育環境の充実を図ることが必要



山村地域の学校再編基本方針

令和8年7月公表

こどもたちの教育環境の向上を中心に据えるとともに、将来を担うこどもたちが安心して住み続けられる地域社会の維持・発展も視野に入れながら、山村地域の暮らしを支える持続可能な地域づくりにつながるよう、基本となる考え方を整理

11

山村地域の学校再編基本方針

1 連続性、系統性を生かした先進的な教育の推進

- 小中一貫教育の導入による「探究的な学び」の深化
- 新しい時代に適応した教育を支える空間づくり（学校施設の統合、改修等）

2 地域とのつながりや郷土への愛着を育む山村ならではの学びの創出

- 地域資源を生かした学び・体験の場や機会の充実
- 学校・地域の活動をつなぎ、様々な人が出会い、交わる学校施設の有効活用（多機能化）

3 まちづくりとの一体的な検討による地域の活性化

- 学校・地域の連携による地域づくりや多世代、多様な関係者の交流を促す取組の展開
- 学校跡地の活用等による地域の魅力、活力の増進に向けたまちづくりの取組の展開

12

山村地域の学校再編基本方針

※学校再編を進める上で考慮すべきこと

こども・
保護者・
地域との対話

通学環境
の確保

地域との
つながり

こどものケア、
保護者の負担や
学校運営への配慮

跡地の
活用

13

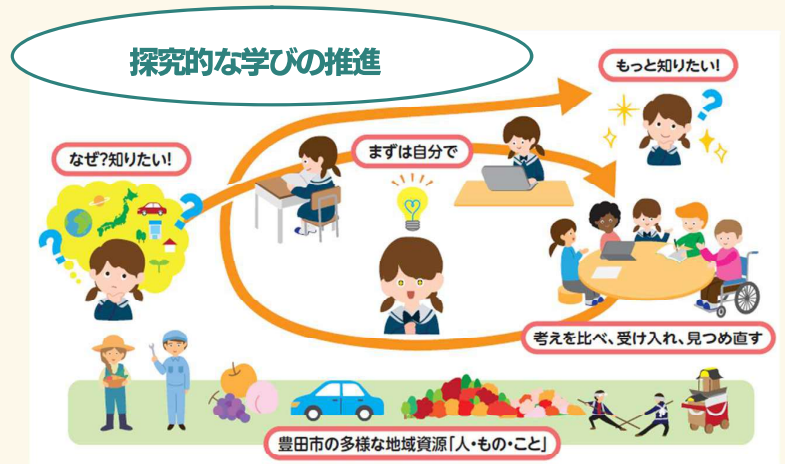
02 豊田市が目指すこれからの教育環境

1 連続性、系統性を生かした先進的な教育の推進

- 小中一貫教育の導入による「探究的な学び」の深化
- 新しい時代に適応した教育を支える空間づくり（学校施設の統合、改修等）

変化の激しい社会では、未経験の事態や複雑な問題に直面します。これらを解決するには、他者と協力しつつ自ら行動する力が必要です。そこで豊田市は、探究的な学びを学校の重点プロジェクトとして推進します。

こどもたちの未来を生き抜く力を育むため、学校再編を契機に、小中一貫教育の導入や、新しい時代の教育を支える空間づくりの視点で施設の改修等を検討し、探究的な学びを深化を図ります。



14

02 豊田市が目指すこれからの教育環境

2 地域とのつながりや郷土への愛着を育む山村ならではの学びの創出

- 地域資源を生かした学び・体験の場や機会の充実
- 学校・地域の活動をつなぎ、様々な人が出会い、交わる学校施設の有効活用（多機能化）

これまで山村地域で行われてきた地域資源を生かした学び・体験の機会の充実を図ることで、こどもの郷土への愛着を育みます。

また、学校・地域の活動をつなぎ、様々な人が出会い、交わるように学校施設の有効活用を進めます。それにより、こどもの新たな学び・体験の創出や、誰もが生涯にわたり学び続ける機会の充実を図ります。

◆他市事例（文部科学省学校施設設備・活用のための共創プラットフォーム 学校づくりのアイデア集より）



▲安平町立早来学園「学社融合の教育環境」
（義務教育学校）



▲豊中市立庄内さくら学園「庄内コラボセンター」
（義務教育学校）

15

02 豊田市が目指すこれからの教育環境

2 地域とのつながりや郷土への愛着を育む山村ならではの学びの創出

- 地域資源を生かした学び・体験の場や機会の充実
- 学校・地域の活動をつなぎ、様々な人が出会い、交わる学校施設の有効活用（多機能化）

足助地区においてこれまで実施してきた、地域資源を生かした特色あるそれぞれの集落ならではの学びの今後のあり方についても、地域と共に検討していきます。

◆足助地区の集落ならではの学びの事例



16

02 豊田市が目指すこれからの教育環境

3 まちづくりとの一体的な検討による地域の活性化

- 学校・地域の連携による地域づくりや多世代、多様な関係者の交流を促す取組の展開
- 学校跡地の活用等による地域の魅力、活力の増進に向けたまちづくりの取組の展開

学校はこどもの教育のための施設でありながら、地域社会の中核的な場でもあります。学校再編を契機に、地域や保護者と対話する中で、学校と地域との新しい連携による地域づくりや多世代、多様な関係者の交流を促す取組を展開します。

併せて、足助地区では、これまで行われてきた地域のつながりを生む活動の今後のあり方を、地域と一緒に検討していきます。



登下校の見守り



レクバレーの練習



自治区のお祭り

17

02 豊田市が目指すこれからの教育環境

3 まちづくりとの一体的な検討による地域の活性化

- 学校・地域の連携による地域づくりや多世代、多様な関係者の交流を促す取組の展開
- 学校跡地の活用等による地域の魅力、活力の増進に向けたまちづくりの取組の展開

学校再編で生まれる新しい学校の魅力だけでなく、学校再編の実施に伴い生じる学校跡地の活用なども含め、地域全体の魅力、活力の増進に向け、地域住民等と対話を図りながら、全庁横断的に検討していきます。

学校跡地の活用事例（市内の事例）

1 地域による活用

- ◆旭地区旧杉本こども園を活用した「しきしまの家」



地域の困りごと相談と支援のマッチングや地域の食堂、農地保全相談など農村RMOの拠点として活動

- ◆旭地区旧築羽小学校を活用した「つくラッセル」



移住定住促進のための働く場の確保と、地域活性化の両立を目的とし、地域資源を生かした新たなビジネスの創出をはじめ、地域の課題解消や活性化につながる取組を展開

- ◆石野地区旧藤沢小学校を活用した「ルネサンス豊田高等学校」



廃校となった旧藤沢小学校跡地を活用し、平成23年10月に株式会社の通信制高校を開校

02 豊田市が目指すこれからの教育環境

3 まちづくりとの一体的な検討による地域の活性化

- 学校・地域の連携による地域づくりや多世代、多様な関係者の交流を促す取組の展開
- 学校跡地の活用等による地域の魅力、活力の増進に向けたまちづくりの取組の展開

学校跡地の活用事例（全国の事例）

- ◆秋田県由利本荘市 木のおもちゃ館



- ◆京都府福知山市 お菓子工房



- ◆鳥取県八頭町 地域コミュニティで活用



- ◆岩手県西和賀町 小規模多機能福祉施設



- ◆滋賀県高島市 キノコ工場



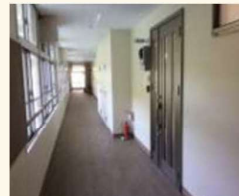
- ◆山梨県身延町 ドローン開発



- ◆和歌山県海南市 スポーツ施設・合宿所



- ◆高知県大豊町 住宅



02 豊田市が目指すこれからの教育環境

3 まちづくりとの一体的な検討による地域の活性化

- 学校・地域の連携による地域づくりや多世代、多様な関係者の交流を促す取組の展開
- 学校跡地の活用等による地域の魅力、活力の増進に向けたまちづくりの取組の展開

地域活動への支援



集落支援員による支援



とよたの山里応援隊による
集落活動サポート



移住定住の推進

目次

- 01 はじめに 一足助地区の現状などー
- 02 豊田市が目指すこれからの教育環境
- 03 足助地区のまちづくり
- 04 今後の予定
- 05 質疑応答



03 足助地区のまちづくり

教育環境

山村地域の学校再編基本方針

連続性、系統性を生かした先進的な教育の推進

地域とのつながりや郷土への愛着を育む山村ならではの学びの創出

まちづくりとの一体的な検討による地域の活性化



まちづくり

まちづくりの総合的な取組

こどもが地域と共に育つ環境づくり

生活利便性の向上

定住・創業の支援強化

教育環境の検討と並行して「まちづくりの総合的な取組」を進めます

22

03 足助地区のまちづくり



こどもが
地域と共に
育つ環境づ
くり

こどもも大人も一緒に成長し、住み続けたいくなる環境をつくる

- ・ 山村に適した子育て環境づくり
- ・ こども自身が安心して育つ場づくり
- ・ 大人もこどももフラットに学び合う仕組みづくり
- ・ 関係人口を呼び込む開かれた仕掛けづくり

都市部にはない「足助ならではの学びの価値」を創出

23

03 足助地区のまちづくり



生活利便性の向上

暮らしに必要なサービスをまとめ直し、生活を便利にする
次の世代が住みたくくなるような、新しい魅力をもつ地域の拠点をつくる

- ・広域生活拠点機能（暮らしに必要な施設等）の利便性向上
- ・次世代を呼び込むための新たな機能の充実

次世代につなぐ、快適で暮らしやすいまちづくり

24

03 足助地区のまちづくり



定住・創業の支援強化

地域資源を活用した創業
一時的な来訪から定着・定住へつなげる

- ・居住促進地区への居住の誘導
- ・お試し暮らしの検討
- ・コミュニティとのつながりづくり
- ・創業支援の強化

地域に新たな価値を生み出す仕事や暮らしを支援

25

目次

- 01 はじめに 一足助地区の現状などー
- 02 豊田市が目指すこれからの教育環境
- 03 足助地区のまちづくり
- 04 今後の予定
- 05 質疑応答



26

04 今後の予定

- ・今後、足助地区における学校再編の方針（再編の内容やスケジュールなど）をまとめた「学校再編構想」を作成する予定です。
- ・学校再編構想は、こどもたちの教育環境の向上を中心に据えて、住民の皆さんとの対話（ヒアリングの会や学校再編構想作成に当たってのワークショップ）を行い、作成します。
- ・住民の皆さんには、学校再編に関する検討状況をお伝えするかわら版（広報紙）を作成し、進捗状況をお伝えする予定です。

年度	予定
令和8年度	◎住民説明会（7月18日） →学校再編の方向性等について説明会を開催 ◎学校再編に関する意見聴取（9月～） →ヒアリング会を地区別で開催し、住民の皆さんの意見を聴取 ◎教育環境ワークショップ（9月～） →地域や保護者世代の代表の方に参加していただき、学校再編構想の作成に向けて教育環境ワークショップを開催
令和9年度	※令和8年度に引き続き、住民説明会や教育環境ワークショップを行い、学校再編構想の方針を決定
令和10年度～	※学校再編構想の方針に基づいて、準備協議会などを開催し、開校に向けた準備

※ヒアリング会の日程などについては、別途ご案内します。
※スケジュールや内容は、予定のため変更になる場合があります。

27

04 今後の予定

その他の取組

- ・ こどもも大人も一緒に成長し、住み続けたいくなる環境づくり
- ・ 公共施設の再編
- ・ 多世代が交流できる居場所の創出
- ・ 高齢者等の移動手段・支援の検討
- ・ 移住定住施策の推進
- ・ 創業支援の強化 など

「選ばれるまち」に向け、その他の取組も併せて進めていきます。

28

05 質 疑 応 答

29